ダビング前のご案内

HDDに録画した番組をDVDディスクに保存することができます。これをダビングといいます。
基本的な手順は以下のとおりです。

①録画できるDVDディスクを入れる　→　②ワケ録ナビやディスクナビゲーションでHDDに録画した番組からダビングしたい番組を選ぶ　→　③べんりメニューで「ダビング」を選ぶ　→　④画面指示に従いダビング開始する

Q:デジタル放送の「1回だけ録画可能な番組」をダビングするには?

A: RAM と、VRフォーマットで初期化した RW VR R VR にダビングできます。

●HDDに保存した「1回だけ録画可能な番組」をダビングする場合は、**CPRM対応ディスクを使用してください。**1回だけ録画可能な番組は、ダビングするとHDDからは強制的に消去されます。
この場合のダビングは、**「ムーブ」**（移動）といいます。
※DVDディスクに録画した番組をHDDに保存するダビングもあります。
ただし、DVDに録画した「1回だけ録画可能な番組」は、HDDにダビングもムーブもできません。

Q:どのディスクを選べばいいの?

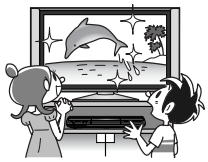
A:流れに従って、目的にあったディスクを選んでください。

Q:長時間の録画番組を1枚のディスクにダビングするには?

A:ダビングモードの選択で、「レート変換FR」を選びます。
「レート変換ダビング（FR）」を選ぶと、1枚に収まるダビングモードが自動的に選択されます。

Q:1時間以上の高画質録画番組（TSモード）を画質重視でダビングするには?（TSモードからXPモードへのダビング）

A:あらかじめ番組を分割してからダビングします。
高画質（TSモード）のまま分割をせずに録画をすると、1枚のディスクに収まらないことがあります。かならず番組分割をしてからダビングをしてください。



Q:気に入った場面だけを編集して保存するには?

A:プレイリストを作成してからダビングします。

※デジタル放送の番組でプレイリストを作成すると、ムーブ／ダビングできません。

デジタル放送の「1回だけ録画可能な番組」のダビングについて

■HDDに録画したデジタル放送の「1回だけ録画可能な番組」をダビングできるDVDは

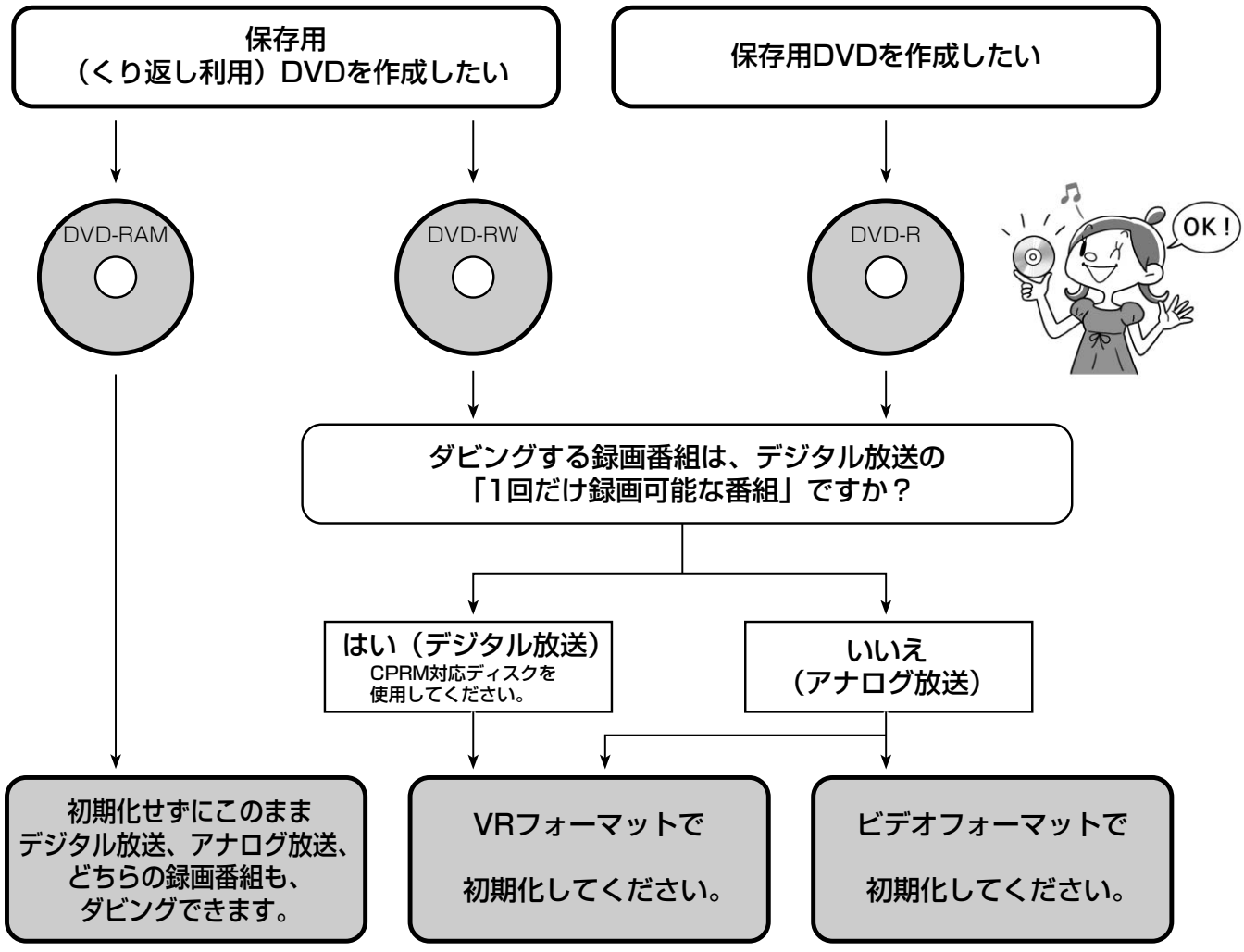
RAM と、VRフォーマットで初期化した RW-VR R-VR に録画できます。

● 「1回だけ録画可能な番組」をダビングする場合は、**CPRM対応ディスクを使用してください。**1回だけ録画可能な番組は、ダビングするとHDDからは消去されます。この場合のダビングを、**「ムーブ」**（移動）といいます。
※DVDディスクからHDDへのダビングもできます。ただし、DVDに録画した「1回だけ録画可能な番組」は、HDDにダビングもムーブもできません。

ダビング先ディスクの選びかた

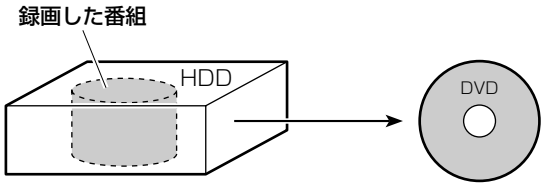
HDDに録画した番組をDVDにダビングする場合、以下の流れに従って、ダビング前に使用するディスクと記録フォーマットの種類をあらかじめ確認してください。

●デジタル放送の「1回だけ録画可能な録画番組」をムーブする場合、CPRM対応ディスクを使用してください。

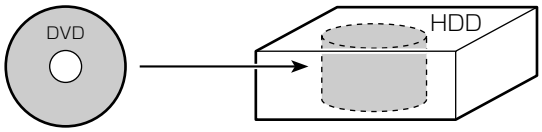


本機のHDDやDVDに録画した番組を、DVDやHDD、およびi.LINK接続した機器（DV-DH1000S/500S）にダビングすることができます。

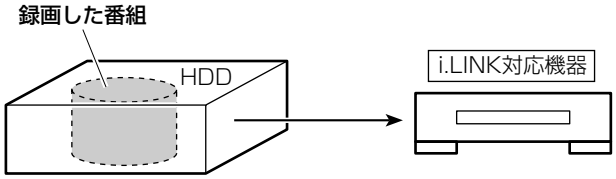
HDDからのダビングは…



DVDからのダビングは…



i.LINK対応機器へのダビングは…



「1回だけ録画可能」な番組をダビングすると

「１回だけ録画可能」な番組（主にデジタル放送）をダビングすると「移動（ムーブ）」となり、ダビング元の番組は再生およびもとに戻せない状態でゴミ箱に移動されます。* HDDの残量を増やすにはゴミ箱から消去してください。

＊ ゴミ箱画面内に赤い文字で「このメッセージを選択して、他の番組と同じように消去してください　残量が増えます」と表示されます。

ダビングについて

ダビング方向およびダビングモードは以下のようになります。

ダビング元＼ダビング先		HDD		DVD		i.LINK機器*
		高速	レート変換	高速	レート変換	等速
HDD	TSモード	–	–	–	○	○
	XP、SP、LP、EPモード	–	–	○	○	–
DVD	VRフォーマット	○	○	–	–	–
	ビデオフォーマット（ファイナライズ前）	–	○	–	–	–
	ビデオフォーマット（ファイナライズ後）	–	–	–	–	–

＊DV-DH1000S/500S/1000D/500D
その他の機器は10ページをご覧ください。

■高速ダビングについて

高速ダビングとは、画質を落とさずに高速でダビングすることができる録画モードです。ただし、TSモードで録画した番組は、高速ダビングできません。

高速ダビングの所要時間は、ダビングする番組の録画モードやディスクの種類によって異なります。約1時間の番組をダビングするときの所要時間の目安は以下のとおりです。

ディスクの種類／録画モード	DVD-RAM 3倍、5倍速	DVD-RW 6倍速	DVD-R 8倍、16倍速
XP	約17.5分	約9分	約7.5分
SP	約9分	約5分	約4.5分
LP	約5分	約3分	約3分
EP6時間	約3分	約2分	約2分
EP8時間	約2.5分	約1.5分	約2分

お知らせ

- 実際のダビング時間は、ディスクの状態や品質、ダビングする内容によって長くなる場合があります。
- 録画時間の短い番組は、所要時間の目安よりダビング時間が長くなることがあります。
- 記録されている内容によっては、高速ダビングできない場合があります。
- ディスクに記録できる時間よりも長い番組は、高速ダビングできません。
- 他の製品で録画したVRフォーマットのDVDディスクを本機のHDDに高速ダビングした場合、高速ダビングした番組やその番組を含むプレイリストをVFフォーマットのDVD-RWやDVD-Rに高速ダビングすることはできません。
- ダビングした番組はいいとこ観再生ができません。

■ハイビジョン映像をDVDに移動（ムーブ）する

●TSモードで録画した番組の場合、DVDに移動（ムーブ）するには、レート変換ダビングしてください。
●ハイビジョン画質のままHDDにも残し、DVDにもレート変換ダビングするには、同じ番組を「レコーダー1」（XP、SP、LP、EPモード）と「レコーダー2」（TSモード）で同時に録画してください。録画が終わってから、レコーダー1で録画した番組（XP、SP、LP、EPモード）をDVDにダビングしてください。

■TSモードやDVDに入りきらない番組をダビングする（レート変換ダビング）

レート変換ダビングとは、録画モードを変更してダビングできる録画モードです。長時間の番組をDVDにダビングするときなどに便利です。また、TSモードで録画した番組をDVDにダビングする場合、レート変換ダビングする必要があります。

レート変換ダビングでは、通常の「XP」、「SP」、「LP」、「EP」モードの他に、「FR」モードがあります。FRモードはHDDからDVDへダビングするときのみ選択でき、ダビングする番組およびプレイリストが1枚のディスクに収まるように本機が自動的に画質を調節する便利なモードです。(「XP」「SP」「LP」「EP」モードのそれぞれの間の画質に調節される場合もあります。)

レート変換ダビングの所用時間は、ダビング元の番組の再生時間と同じ時間になります（等速）。

お知らせ

- FRモードでDVDへダビングする場合、DVDの残量が少ないほど画質が低下します。例えば、空のDVDへ3時間の番組をFRモードでダビングする場合、「SP」（2時間モード）と「LP」（4時間モード）の中間くらいの画質になります。
- レート変換ダビング中は、レコーダー1(R1)の予約録画の開始時刻になっても予約録画は実行されません。レコーダー2(R2)の予約録画は実行されます。
- プロテクトされた録画番組はダビングできません。ダビングする場合は、プロテクトを解除してください。
- FRモードでダビングする場合、番組の内容により、DVDディスクの容量が残る場合があります。
- 1枚のディスクに入りきらない場合、あらかじめ番組を分割してからダビングする方法もあります。ただし、分割した番組の結合や、継ぎ目のない再生はできません。

■コピー制御信号について

デジタル放送には著作権保護のために、コピー制御信号が付いています。コピー制御信号が「録画可能」の番組は、無制限でダビングできます。コピー制御信号が「1回だけ録画可能」の録画番組をDVDにダビングすると、ダビング元のHDDから録画番組が消去されます。これを移動（ムーブ）といいます。

お知らせ

- 「1回だけ録画可能」の録画番組をDVDへ移動（ムーブ）中にダビングを中断した場合は、元の状態に戻ります。
- ビデオフォーマットのDVD-RWおよびDVD-Rに「1回だけ録画可能」の録画番組を移動（ムーブ）させることはできません。
- DVDに録画された「1回だけ録画可能」の録画番組は、HDDにダビングできません。

不要な部分を除いてムーブ／ダビングするには

- TSモードで録画した番組の場合、不要な部分の前後にチャプターを設定し、不要な部分をスキップ設定してからダビングすると、不要な部分を除いてムーブ／ダビングできます。
- XP/SP/LP/EPモードで録画したデジタル放送（1回だけ録画可能）番組の場合、不要な部分を部分消去してからダビングすると、不要な部分を除いてムーブ／ダビングできます。
- XP/SP/LP/EPモードで録画したアナログ放送またはコピーフリー番組の場合、不要な部分を除いたプレイリストを作成してから、そのプレイリストをダビングすると不要な部分を除いてダビングできます。

他のi.LINK機器からムーブ／ダビングするには

- 日立HDDレコーダー内蔵ハイビジョンテレビ、ハイビジョンHDD/DVDレコーダーの一部の機種から、ムーブ／ダビングできます。対応機器、およびムーブ／ダビングの手順については、13、14ページをご覧ください。

日立DVDカメラで撮影したディスクをダビングする

日立DVDカメラで撮影したディスクから本機のHDDへダビングし、さらに本機で他の12㎝DVDディスクへダビングすることができます。
ダビング方向によるダビングの種類とダビング後のチャプターの設定は以下のとおりです。

ダビング元（DVDカメラの8cmディスク）	DVDカメラ→本機のHDD	本機のHDD→本機のDVD（ダビング先DVDの種類）		ダビング後のチャプターの設定
		DVD-RAM DVD-RW(VR) DVD-R(VR)	DVD-RW(VF) DVD-R(VF)	
DVD-RAM	高速／レート変換ダビングできます	高速／レート変換ダビングできます	レート変換ダビングできます	元のまま
DVD-RW（VR）				
DVD-RW（VF）（未ファイナライズ）	レート変換ダビングできます			すべて消去
DVD-R（未ファイナライズ）				
DVD-RW（VF）（ファイナライズ済み）	ダビングできません	–	–	–
DVD-R（ファイナライズ済み）				

- DVD-RAM/DVD-RW(VR)で撮影したものは、高速ダビングでHDDにダビングできます。さらに、HDDにダビングした内容を本機で別の12cmDVD-RAM／12cmDVD-RW(VR)／12cmDVD-R(VR)に高速ダビングできます。
- DVD-RW(VR未ファイナライズ)/DVD-R(未ファイナライズ)で撮影したものは、レート変換ダビングでHDDにダビングできます(高速ダビングはできません)。
- ファイナライズしたDVD-RW(VF)/DVD-Rディスクは、本機のHDDにダビングできません。
- DVD-RAM/DVD-RW(VR)で撮影したシーンを本機のHDDに高速ダビングした場合、カメラでの録画モード(XTRA/FINE/STD)は、ディスクナビゲーションで「--」と表示されます。再生時の表示窓の録画モードも正しく表示されません。
- 高速ダビングの場合、カメラで撮影したシーンのつなぎ目は、本機ではチャプターとして表示できます。ディスクナビゲーションには GMP が表示されます。

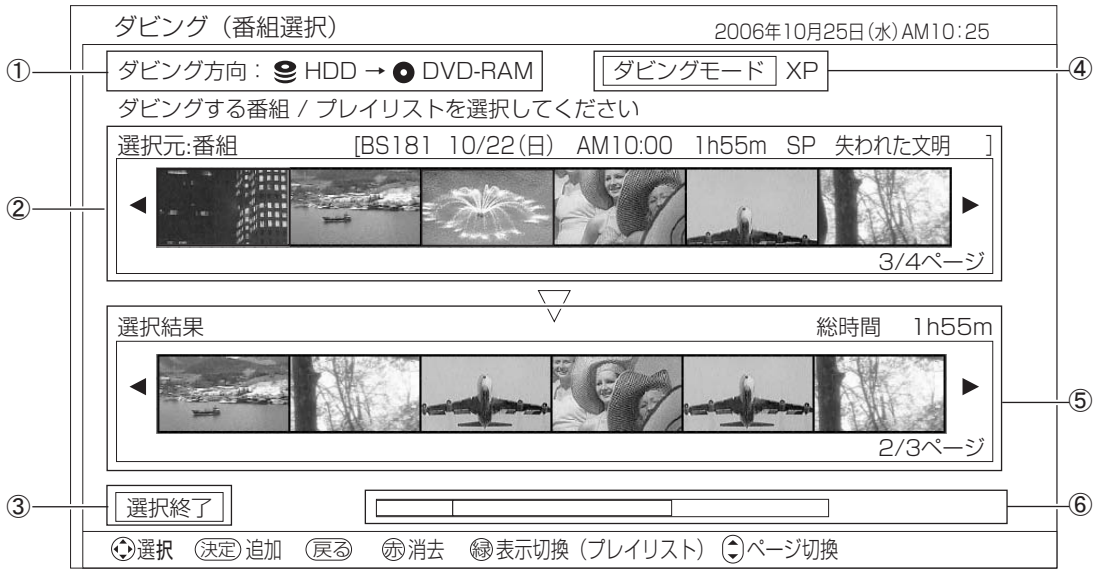
録画した番組をダビングする

ダビングする（番組選択画面）

番組およびプレイリストをダビングすることができます。

●HDDからDVDにダビングするときは、ダビングする前に必ずDVDディスクをフォーマットしてください。
●DVDからHDDにダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されているDVDディスクをディスクトレイに入れてください。

番組選択画面



① ダビング方向表示
選んだダビング方向が表示されます。

② 選択元
ダビング元に録画されている番組またはプレイリストが一覧で表示されます。ここからダビングする番組またはプレイリストを選びます。

［カーソル◀▶］または［チャンネル△▽］を押すと、ダビングする番組を選択します。（一覧表示が切り換わります。）

［緑］を押すたびに、番組とプレイリストが交互に切り換わります。

③ 選択終了ボタン
ダビングする番組およびプレイリストの選択が終了したら選びます。

④ ダビングモード
選んだダビングモードが表示されます。

⑤ 選択結果
選択元で選んだ番組およびプレイリストが一覧で表示されます。右上にはダビングする番組およびプレイリストの総録画時間が表示されます。

※ダビングする番組およびプレイリストの順番を並べかえても、ダビングした後の順番は、以下の順になります。

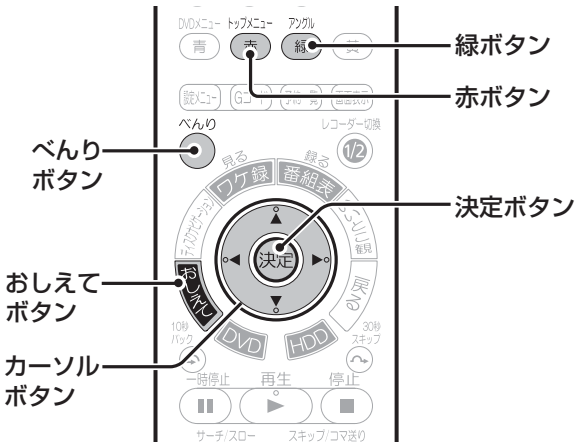
- HDD→DVD：ディスクに記録した順
- DVD→HDD：録画日時の新しい順

⑥ ディスク容量表示
ダビング先ディスクの容量がバーで表示されます。右側にはダビング先ディスクの残りの録画時間が表示されます。

バーに表示される色には以下のような意味があります。

緑　：ダビングする番組およびプレイリストの総容量
オレンジ　：現在選択元で選んでいる番組およびプレイリストの容量
グレー　：すでにダビング先ディスクに記録されている番組およびプレイリストの容量
赤　：ダビング元の番組およびプレイリストの容量がダビング先ディスクの容量を超えている

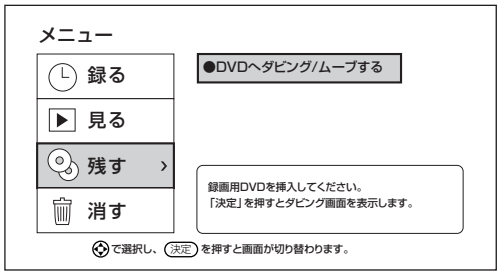
HDDに録画した番組をDVDにダビングする（HDD→DVD）



1 本機にフォーマット済みのDVDをセットする

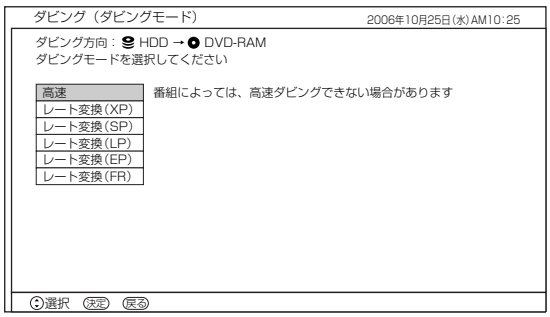
2 [おしえてボタン] を押す

3 [カーソル▲▼] で「残す」を選び［決定］を押し、「DVDへダビング/ムーブする」を選び、［決定］を押す



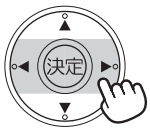
- ダビング画面は、ワケ録ナビ、ディスクナビゲーションのべんりメニューからも表示できます。

4 [カーソル▲▼] でダビングモードを選び、［決定］を押す

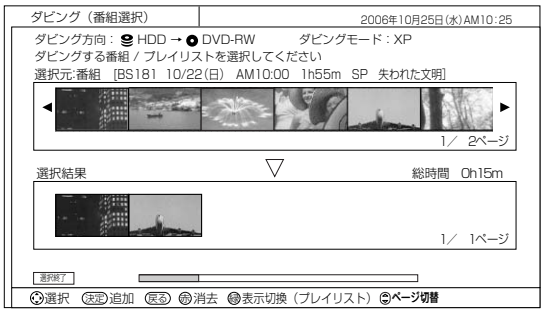


番組の選択画面が表示されます。

5 [カーソル◀▶] でダビングしたい番組またはプレイリストを選び、［決定］を2回押す



選択結果欄に番組またはプレイリストが表示されます。



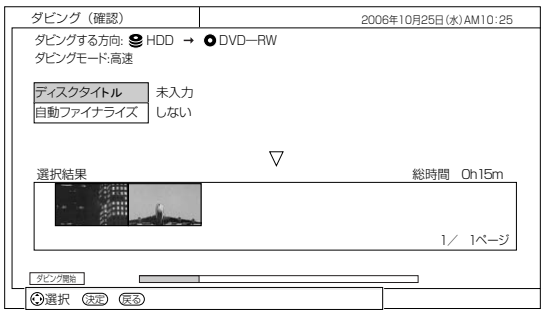
- ［緑／アングル］を押すたびに、番組一覧とプレイリスト一覧が切り換わります。
- 左右に「◀/▶」が表示されているときは、［カーソル◀▶］を押して、一覧表示を前後に切り換えることができます。
- ワケ録ナビのべんりメニューからダビングする場合は、画面上部の「選択元」に、ワケ録ナビで選んだサブフォルダに分類されている番組だけが表示されます。
- 選んだ番組およびプレイリストを取り消すには、［カーソル▼］を押して選択結果欄にカーソルを移動させてから、［カーソル◀▶］で取り消したい番組またはプレイリストを選び、［赤／トップメニュー］を押します。
- ムーブ が表示されている番組は、移動（ムーブ）します。

6 [カーソル▲▼]で「選択終了」を選び、[決定]を押す

ダビングの確認画面が表示されます。

7 [カーソル▲▼]で「ディスクタイトル」を選び、[決定]を押す

文字入力パッドが表示されます。



8 ディスクのタイトルを入力する

DVDディスクにタイトルが登録されます。

9 [カーソル▲▼]で「自動ファイナライズ」を選び、[決定]を押す

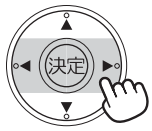
設定項目	内　容
する	ダビング終了後に自動的にDVDディスクをファイナライズします。ファイナライズすると他のDVDプレーヤーなどで再生できるようになります。
しない	ダビングを終了してもDVDディスクをファイナライズしません。引き続き本機で編集することができます。

- [決定]を押すたびに、「する」／「しない」が切り換わります。
- DVD-RAMをお使いの場合は、表示されません。

10 [カーソル▲▼]で「ダビング開始」を選び、[決定]を押す

ダビング開始の確認メッセージが表示されます。

11 [カーソル◀▶]で「はい」を選び、[決定]を押す



選んだ番組およびプレイリストがダビングされます。

- 高速ダビングのとき、画面はテレビ放送に戻ります。
- レート変換ダビングのとき、画面は選んだ番組の再生画になります。テレビ放送に切り換えることはできません。
- ダビングを開始して画面に映像が映るまで数秒かかることがあります。

■ ダビングを途中で停止するには

[べんり]を押して、[カーソル◀▶]でべんりメニューの2ページ目に切り換えて、[カーソル▲▼]で「ダビング中止」を選んでください。

■ チャプターが設定されている番組（XP、SP、LP、EPモード）を高速ダビングした場合

DVDにダビングした後も、元のままチャプターが設定されています。

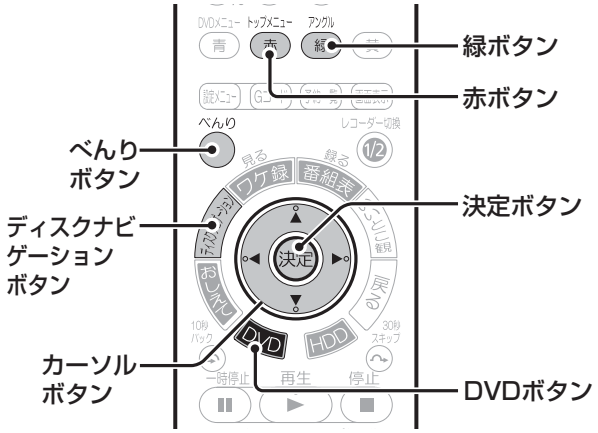
ただし、レート変換ダビングの場合は、DVDディスクのフォーマット形式により、以下の設定に変わります。

・VRフォーマット　：すべてのチャプター設定が消去されます。

・ビデオフォーマット：約5分おきにチャプターが設定されます。（番組の録画モードなどにより設定間隔は変わります。）

DVDに録画した番組をHDDにダビングする（DVD→HDD）

RAM　RW VR　R VR

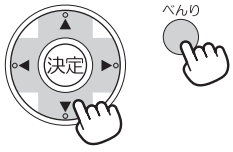


1 本機にダビング元のDVDをセットする

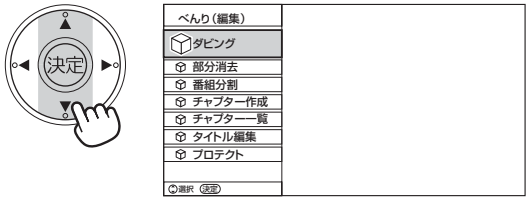
2 [DVD] を押してDVDに切り換える

3 [ディスクナビゲーション] を押す

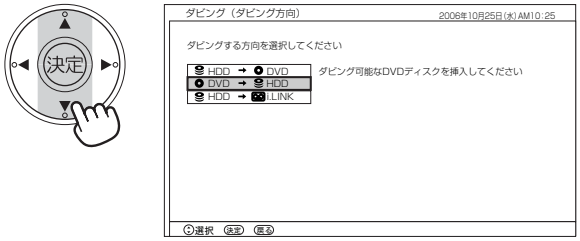
4 [カーソル▲▼◀▶] でダビングしたい番組またはプレイリストを選び、[べんり] を押す



5 [カーソル▲▼] で「ダビング」を選び、[決定] を押す

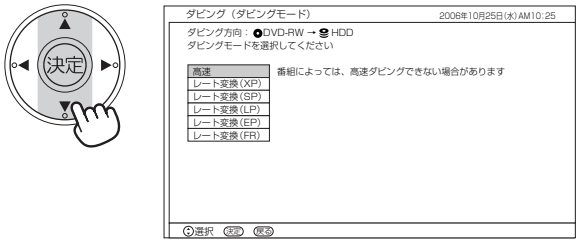


6 [カーソル▲▼] で「DVD→HDD」を選び、[決定] を押す



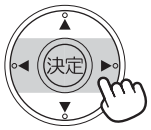
※「HDD→i.LINK」はDV-DH1000S/500Sで表示されます。

7 [カーソル▲▼] でダビングモードを選び、[決定] を押す

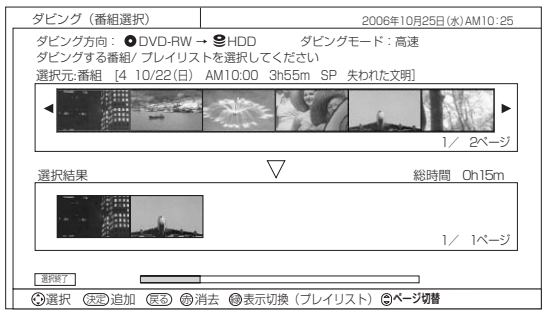


番組の選択画面が表示されます。

8 [カーソル◀▶] でダビングしたい番組またはプレイリストを選び、[決定] を2回押す



選択結果欄に番組またはプレイリストが表示されます。



- [緑／アングル] を押すたびに、番組一覧とプレイリスト一覧が切り換わります。
- 左右に「◀／▶」が表示されているときは、[カーソル◀▶] を押して、一覧表示を前後に切り換えることができます。
- 選んだ番組およびプレイリストを取り消すには、[カーソル▼] を押して選択結果欄にカーソルを移動させてから、[カーソル◀▶] で取り消したい番組またはプレイリストを選び、[赤／トップメニュー] を押します。
- 🚫 が表示されている番組は、ダビングできません。

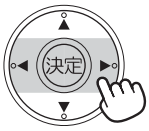
9 [カーソル▲▼] で「選択終了」を選び、[決定] を押す

ダビングの確認画面が表示されます。

10 [カーソル▲▼] で「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

ダビングの開始の確認メッセージが表示されます。

11 [カーソル◀▶] で「はい」を選び、[決定] を押す



選択した番組およびプレイリストがダビングされます。

- 高速ダビングのとき、画面はテレビ放送に戻ります。
- レート変換ダビングのとき、画面は選んだ番組の再生画になります。テレビ放送に切り換えることはできません。
- ダビングを開始して画面に映像が映るまで数秒かかることがあります。

■ ダビングを途中で停止するには

[べんり] を押して、[カーソル◀▶] でべんりメニューの2ページ目に切り換えて、[カーソル▲▼] で「ダビング中止」を選んでください。

■ HDD⇔DVDダビングとi.LINKダビングについてのご注意

- ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面の表示中にべんりメニューからダビングを実行した場合は、ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面でカーソルがあたっていた番組がコンテンツ選択画面の「選択元」でカーソルがあたっています。
- 予約録画中は、ダビングできません。
- レート変換ダビング中にレコーダー1(R1)の録画予約の開始時刻になる場合、録画予約はキャンセルされます。その場合、ダビングを実行する前に「予約録画と重なってしまいますがよろしいですか？」というメッセージが表示されます。レコーダー2(R2)の録画予約は実行されます。
- ダビング方向が「DVD→HDD」のとき、「1回だけ録画可能」の録画番組は選べません。
- 「1回だけ録画可能」の録画番組が含まれるプレイリストはダビングできません。
- スキップ設定されているチャプターはダビングされません。移動（ムーブ）の場合は、HDDから消去されるのでご注意ください。
- HDDからDVDへの高速ダビング中は、テレビ放送の視聴やHDDへの録画ができます。レート変換ダビング中は再生画面が表示され、テレビ放送の視聴や録画ができません。
- ダビング中にi.LINK機器などを本機に接続した場合、ダビングは中断されます。移動（ムーブ）の場合、中断するまでの録画内容がHDDから消去されますのでご注意ください。（DV-DH1000S/500S）
- 他社のDVDレコーダーで録画した未ファイナライズのDVD-Rからはダビングできません。
- 一度にダビングできる番組数は最大99番組（DVDの場合）、1番組（i.LINK接続した機器の場合）です。
- ダビング中に [画面表示] を押すと、そのときの進行状況が表示されます。表示される内容は目安です。
- 本機の不具合などにより、ダビングが正常にできなかった場合の内容（データ）の補償や損失、直接、間接の損害について、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- チャプターが設定されている録画番組をDVDにダビングした場合、チャプターの設定はフォーマット形式によって以下のとおりに変わります。設定したチャプターをそのままダビングしたい場合は、高速ダビングしてください。

	高速ダビング	レート変換ダビング
VRフォーマット (DVD-RAM、-RW、-R)	元のまま	すべて消去
ビデオフォーマット (DVD-RW、-R)	元のまま	約5分おきに設定 (番組の録画モードなどにより時間は変わります。)

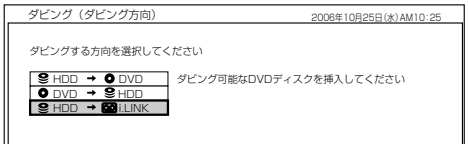
D-VHSなどのi.LINK機器にダビングする（DV-DH1000S/500S）

TSモードでHDDに録画した番組を、i.LINK接続したD-VHSにダビング／ムーブすることができます。

1 本機とD-VHSをi.LINKコードで接続する

2 [べんり] を押して、「ダビング」を選び、[決定] を押す

3 [カーソル▲▼] で「HDD→i.LINK」を選び、[決定] を押す



4 [カーソル◀▶] でダビング／ムーブしたい番組を選び、[決定] を2回押す

i.LINKダビング／ムーブ時は1回に1つの番組しか選べません。

5 [カーソル▲▼] で「選択終了」を選び、[決定] を押す

6 [カーソル▲▼] で「移動開始」または「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

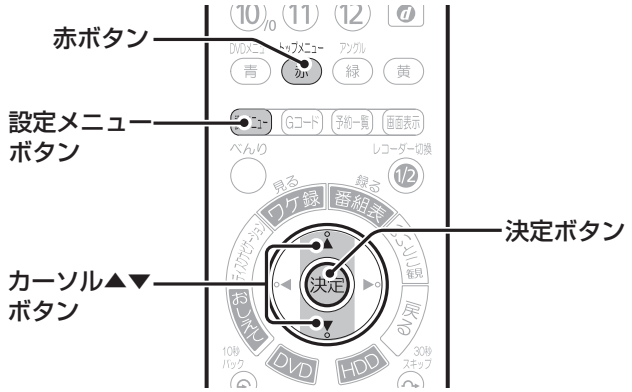
■ i.LINKダビングについてのご注意

- i.LINKダビングできる機器は1台だけです。2台以上接続されているとi.LINKダビングできません。1台だけ接続してください。
- i.LINKダビング時は、1回に1つの番組しか選べません。
- i.LINKダビング（移動）中は再生画面が表示されます。テレビ放送に切り換えることはできません。
- デジタル標準テレビ放送の録画番組をi.LINKダビングする場合、D-VHSの録画モードは「STD」モードになります。
- i.LINKで接続したD-VHS機器から本機へのダビングはできません。
- i.LINKダビングできるD-VHS機器は、DT-DRX100（日立製）、HM-DHX1（日本ビクター製）、HM-DHS1（日本ビクター製）、HM-DHX2（日本ビクター製）、HVR-HD250F/HVR-HD160F/HVR-HD160M（I・O DATA製）のみです。他のD-VHSではダビングできません。
- 接続したD-VHSの電源が切れている場合や、テープが挿入されていない場合などは、i.LINKダビングができません。D-VHSの電源を入れ、テープを入れてください。
- デジタル放送を「XP」、「SP」、「LP」、「EP」のいずれかのモードで録画した番組や、アナログ放送（外部入力録画を含む）の番組は、i.LINKダビングできません。
- i.LINKダビングでは、部分消去やチャプタースキップ設定の箇所で映像が乱れる場合があります。
- DV-DH1000S/500S、DV-DH1000D/500Dへのダビングの方法は、「レコーダー同士で録画番組をムーブ／ダビングする」（13ページ）をご覧ください。

■ 本機でi.LINK対応機器を操作する

接続したi.LINK対応機器を本機で操作することができます。最大3台まで登録できます。

■登録のしかた



1 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼] で「外部設定」を選び、[決定] を押す

外部設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼] で「i.LINK機器設定」を選び、[決定] を押す

4 [カーソル▲▼] で本機に登録するi.LINK対応機器を選び、[決定] を押す

操作欄が「する」に切り換わり選んだi.LINK対応機器が本機に登録されます。

操作欄に「する」が表示されているi.LINK対応機器を本機で操作することができます。

- [決定] を押すたびに、「する」（登録）と「しない」（解除）が交互に切り換わります。
- 本機に登録されていても、接続されていないi.LINK対応機器の操作欄には「不可」と表示されます。

5 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が消えます。

ご注意

- 本機に搭載されているi.LINK端子（MPEG（TS））は、MPEG2圧縮TS（トランスポート・ストリーム）データをやりとりします。DVカメラやDVビデオデッキに搭載されているDV端子は、DV圧縮データをやりとりします。したがって、本機とDVカメラやDVビデオデッキで使用するケーブルや端子の形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることができません。また、同じMPEG2圧縮データを扱う機器であっても、MPEG2圧縮TSデータ以外のデータをやりとりする機器と接続した場合、デジタルデータのやりとりはできません。

お知らせ

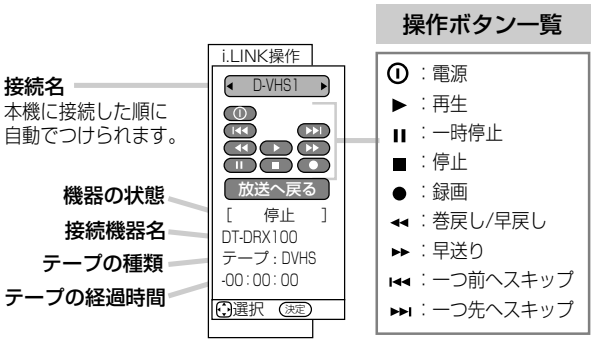
- 新しいi.LINK機器を接続すると自動的にリストに登録されます。
- 操作したい機器を選び、[決定] を押して「する」にしてください。操作しない機器は「しない」にしてください。接続されていない機器は「不可」と表示されます。
- 4台目の機器を登録するときは、3台の登録をすべて消去してください。i.LINKコードが接続されていないことを確認してから、[赤／トップメニュー] を押してください。
- 接続しているi.LINK対応機器のメーカー名や機種名が画面に表示されないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続したi.LINK対応機器によっては、メーカー名や機種名が表示されないことがあります。
- D-VHSビデオ以外の機器は表示されないことがあります。
- 本機で操作中のi.LINK対応機器は登録を解除できません。

■操作のしかた

1 [べんり] を押す

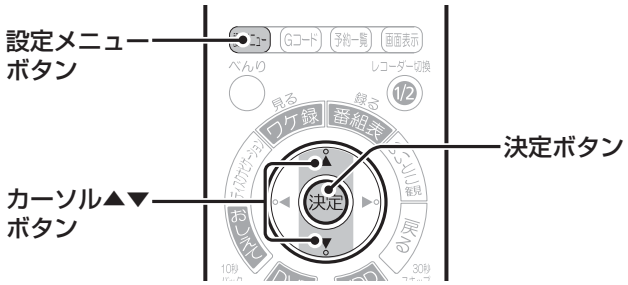
2 [カーソル◀▶] で2ページ目の「i.LINK操作」を選び、[決定] を押す

以下の操作画面が出ます。[カーソル▲▼◀▶] で画面に表示されているボタンを選び、[決定] を押してください。



■ i.LINK対応機器の制御を受ける

本機の電源を切っていても、接続しているi.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできるように設定します。



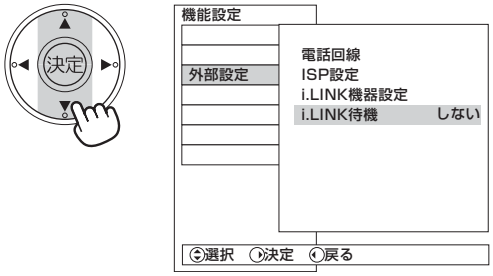
1 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼] で「外部設定」を選び、[決定] を押す

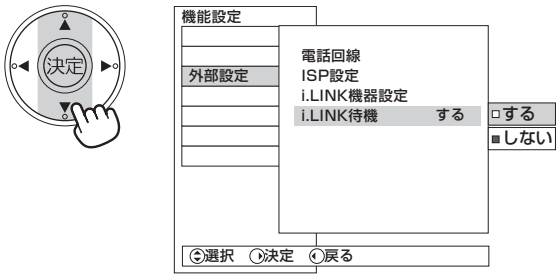
外部設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼] で「i.LINK待機」を選び、[決定] を押す



設定内容が表示されます。

4 [カーソル▲▼] で「する」または「しない」を選び、[決定] を押す



i.LINK待機が設定されます。

設定項目	内　容
する	本機の電源を切っていても、i.LINK対応機器からの制御を受けることができます。
しない	本機の電源を切ると、i.LINK対応機器からの制御はできません。

5 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなるように、本機能を「しない」に設定してください。
- 「する」に設定すると、本機の電源を切ってもファンが回り続けます。

日立製i.LINK機器から録画する（WoooでLink）

■日立HDDレコーダー内蔵テレビの録画番組を本機に録画する

日立HDDレコーダー内蔵ハイビジョンプラズマテレビ／液晶テレビと本機をi.LINK接続すると、テレビのレコーダーに録画された番組を、本機のHDDに録画（ムーブ／ダビング）することができます。

- ムーブ：HDDレコーダー内蔵テレビに録画された番組が本機に移動（ムーブ）し、HDDレコーダー内蔵テレビから消去されます。
- ダビング：HDDレコーダー内蔵テレビに録画された番組が本機にコピーされます。（テレビのレコーダーから消去はされません。）

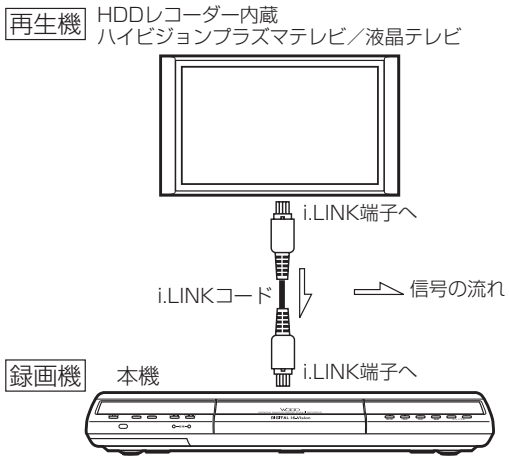
※デジタル放送の「1回のみ録画可能」（コピーワンス）番組は移動（ムーブ）となり、「録画可」（コピーフリー）番組はダビングとなります。

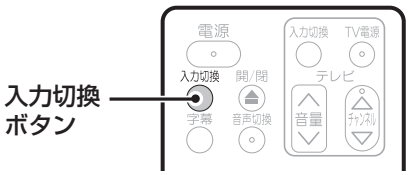
※DVDに直接ムーブ／ダビングはできません。

対応機器

- HDDレコーダー内蔵ハイビジョンプラズマテレビ／液晶テレビ：W42P-HR9000/W37P-HR9000/W37L-HR9000/W32L-HR9000/W55P-HR8000/W42P-HR8000/W37P-HR8000/W37L-HR8000/W32L-HR8000

接続例





1 i.LINKコードを接続して、HDDレコーダー内蔵テレビに本機を認識させる

- 操作画面がテレビに表示されますが、テレビからの操作はできません。
- 操作手順は、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の［入力切換］を押して、「i.LINK」にする

・はじめに本機をレコーダー1でHDDに切り換えておいてください。
・本機の表示窓に「d」と表示されます。

3 HDDレコーダー内蔵テレビからダビング画面を表示させ、「移動開始」または「ダビング開始」を選び、［決定］を押す

- 本機の表示窓に「d LINC」と表示されます。
- 操作手順については、接続した機器の取扱説明書もご覧ください。

■レコーダー同士で録画番組をムーブ／ダビングする

対応機器

- 日立ハイビジョンHDD／DVDレコーダー DV-DH1000S/500S/1000D/500D

日立ハイビジョンHDD/DVDレコーダーを2台i.LINK接続すると、TSモードで録画された番組を、一方にムーブ／ダビングすることができます。
（XP、SP、LP、EPモードで録画された番組は、ムーブ／ダビングできません。）

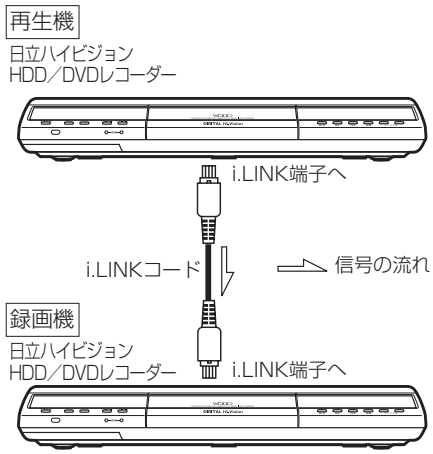
■ i.LINKムーブ／ダビング時の録画モード

再生機側	再生機側の録画モード	録画機側（本機）HDDにムーブ／ダビングした後の録画モード	本機にムーブ／ダビングした番組のDVDへのムーブ／ダビング
日立HDDレコーダー内蔵テレビ*3（W42P-HR9000/W37P-HR9000/W37L-HR9000/W32L-HR9000/W55P-HR8000/W42P-HR8000/W37P-HR8000/W37L-HR8000/W32L-HR8000）	TS	TS	XP、SP、LP、EP、FRいずれかの録画モードでムーブ／ダビングできます（高速ダビングはできません）。*2
	TSE1、TSE2	TS*1	
	XP、SP、LP、EP	TS*1	
日立ハイビジョンHDD/DVDレコーダー*3（DV-DH1000S/500S/1000D/500D）	TS	TS	
	XP、SP、LP、EP	ムーブ／ダビングできません	−

*1 画質・音質はムーブ／ダビング前と同等です。
*2 デジタル放送の番組はCPRM対応ディスクにのみ可能です。
*3 HR8000シリーズ、HR9000シリーズ、DV-DH1000D/500Dは、内蔵ソフトウェアが最新の状態か日立ホームページ（http://av.hitachi.co.jp/）の各機種の「重要なお知らせ」「ソフトウェアアップデート」のページ、またはお客様相談センターで確認してください。

●ムーブ：TSモードで録画された番組が再生機側から録画機側に移動（ムーブ）し、再生機側からは消去されます。
●ダビング：TSモードで録画された番組が再生機側から録画機側にコピーされます。（再生機側から消去はされません。）
※ダビング／ムーブできる台数は1台のみです。複数台接続されているときは、他の機器をはずし、1台のみにしてください。
※デジタル放送の「1回のみ録画可能」（コピーワンス）番組は移動（ムーブ）となり、「録画可」（コピーフリー）番組はダビングとなります。
※DVDに直接ムーブ／ダビングはできません。

接続例



1 録画機側のリモコンの［入力切換］で「i.LINK」に切り換える

・はじめに録画機側をレコーダー1でHDDに切り換えておいてください。

・本機の表示窓に「d」と表示されます。

2 テレビを、再生機側が接続されている入力に切り換える（例：外部入力1）

3 再生機側のリモコンの［ディスクナビゲーション］または［ワケ録］を押す

4 再生機側の［カーソル▲▼◀▶］でムーブ／ダビングしたい番組を選ぶ

5 再生機側のリモコンの［べんり］を押し、［カーソル▲▼］で「ダビング」を選んで、［決定］を押す

6 再生機側のリモコンの［カーソル▲▼］で「HDD→i.LINK」を選び、［決定］を押す

7 ［カーソル◀▶］でダビングしたい番組を選び、［決定］を2回押す

• i.LINKムーブ／ダビング時は、1回に1つの番組しか選べません。

8 ［カーソル▲▼］で「選択終了」を選び、［決定］を押す

9 ［カーソル▲▼］で「移動開始」または「ダビング開始」を選び、［決定］を押す

本機の表示窓に「d LINC」と表示されます。

■ ムーブ／ダビングを途中で停止するには

録画機側前面の［停止］を押してください。（ムーブ／ダビング中は、リモコンの［停止］では操作できません。）ムーブの場合、停止するまでの内容がHDDに記録され、再生機側は停止するまでの内容が消去されます。

ご注意

- **対応機器以外からムーブを行った場合の動作につきましては、当社では一切動作保証をいたしません。**
- **ムーブ／ダビング中に録画予約開始時刻となった場合、予約録画は実行されません。**
- **ムーブ／ダビングの所要時間は、ムーブ／ダビング元の番組の再生時間と同じ時間になります（等速）。**
- ムーブ／ダビング中は、他の番組の再生、HDD⇔DVDのムーブ、DVDの再生はできません。
- ムーブ／ダビング中に本機の電源ボタンを押すと電源は切れますが、ムーブ／ダビングは実行されています（待機状態）。
- ムーブ／ダビングされた番組はレコーダー1（R1）のHDDに録画されます。ムーブ／ダビング中にレコーダー2（R2）に切り換えると、レコーダー2（R2）の放送（デジタル放送）を見ることができます。ただしムーブ／ダビング中は録画できません。
- 録画時間が短い番組（約60秒以内）は、ムーブ／ダビングできません。
- HDDレコーダー内蔵テレビで録画した番組は、本機にムーブ／ダビングするとすべてTSモードとして表示されます。また、画質・音質はムーブ／ダビング前と同等です。
- ムーブ／ダビングした際、日付時刻情報が取得できない場合があります。この場合、番組名は自動的にムーブ／ダビングした日付になります。
- ムーブ／ダビング時に録画機側が受信設定されていないと、地上デジタルのチャンネル番号に「000」が、アナログ放送のチャンネル番号には「0」が表示されます。
- 再生機側で変更した番組タイトルはムーブ／ダビング後の番組には反映されません。
- 再生機側で設定したチャプターはムーブ／ダビング後の番組には反映されません。
- 本機から日立HDDレコーダー内蔵ハイビジョンプラズマテレビ／液晶テレビへのムーブ／ダビングはできません。